

# 雲仙市

担当課	総務部 政策企画課
担当者	参事補 三宅 勝也
電話	0957-38-3111
FAX	0957-38-3514

## 「雲仙人（くもせんじん）サロン」の開催について

雲仙市では、市民協働による第2次雲仙市総合計画の将来像の実現を図ることを目的に、総務省の「地域力創造アドバイザー制度」を活用しています。

その事業の一環として、市内で多様な活動をされている方々に繋がっていただきたく、ネットワーク会議「雲仙人サロン」を下記及び別添のとおり、開催します。

参加者には、「他の人はどうやってパッケージデザインをしているのか」「イベントにどうやってスタッフやお客様を集めているのか」などなど、悩みや工夫を披露しあい、互いの体験を共有してもらうことで、互いを支え合う場として活用していただこうと考えています。

### 記

- 日 時： 令和元年10月10日（木）14時00分～16時00分
  
- 会 場： アイアカネ商店  
（住所：雲仙市小浜町北本町1003）
  
- テーマ： 「“祭り”の作り方」
  
- スピーカー： 獅子島薫さん（ライオンJ）
  
- 次 第：（1）スピーカーによる基調講演（キーノートスピーチ）【30～40分】  
（2）自由な意見交換【1時間20分】



# 「雲仙人サロン」のご案内

雲仙市には、地域を愛し、独自の技術やこだわりで「モノづくり」「コトおこし」に頑張っている方がたくさんいます。この方々を“雲仙人（くもせんニン）”と呼び、繋がり、学び合う場「雲仙人サロン」を開きます。どなたでも参加できます、お誘いあわせお運びください。

■テーマ：2つにこだわるサロンです。

- 1) 「モノづくり」＝新商品開発
- 2) 「コトおこし」＝催し企画、付加価値付け

■仕組み：誰かの話を聞くサロン、視察に出かけるサロン、わいわい話すサロンを毎月開催。

■コーディネーター：野口智子さん

（ゆとり研究所、スローライフ・ジャパン。地域力創造アドバイザー）

■参加者：「モノづくり」「コトおこし」まちづくりに興味のある方ならどなたでも。

■参加費：無料

■第12回サロン：**10月10日(木)14時～16時** ※詳細は別紙

■スピーカー：獅子島薫さん（ライオンJ）

■お問い合わせ先：雲仙市 総務部 政策企画課（担当：三宅、益田）

電話：0957-38-3111（内線：2553）FAX：0957-38-3514

メール：[kikaku@city.unzen.lg.jp](mailto:kikaku@city.unzen.lg.jp)

## <今回の概要>

- 日 時：令和元年10月10日（木）14時00分～16時00分
- 会 場：小浜「アイアカネ商店」（住所：雲仙市小浜町北本町1003）
- テーマ：「“祭り”の作り方」
- スピーカー：獅子島薫さん（ライオンJ）

9月7日（土）、小浜で行われた「島原大半島祭」の仕掛け人・獅子島薫さんが今回のスピーカーです。このお祭りではたくさんのお店が出店し、提灯が灯ってからの盆踊りに、地元の方々はもちろん観光客の皆さんも輪に入って大いに盛り上がりました。普段は「ライオンJ」というカフェ&バーを経営の獅子島さん、祭りの日には浴衣姿で、司会をこなし、櫓の上で自らも踊り大活躍でした。なぜ、この祭りを考えたのか、どんな仲間とどのように企画・運営したのか、これからの展開は。などなど「“祭り”の作り方」についてお話をうかがい、意見交換を深めましょう。会場の「アイアカネ商店」は、「アイアカネ工房」さんがこの春開いたお店。このショップ見学もかねてどうぞ。



獅子島薫さん

盆踊りの様子



会場地図：アイアカネ商店（住所：雲仙市小浜町北本町1003）

※小浜公会堂駐車場から徒歩2分。当日連絡先：090-5028-8144（三宅）

## <第9回の内容>

- 日 時：令和元年9月6日（金）14時00分～16時00分
- 場 所：雲仙市国見町神代小路「今村邸」（住所：雲仙市国見町神代丙123）
- テーマ：「種取り農家・竹田かたつむり農園奮闘記」
- スピーカー：竹田竜太さん、竹田真理さん（竹田かたつむり農園）

9月6日開催のサロンでは、竹田竜太さん、竹田真理さんのご夫婦に「種取り農家・竹田かたつむり農園奮闘記」と題してお話をうかがいました。なぜ種取り農家になったのか、普通の野菜と種取り野菜とどう違うのか、どんな夢を追っているのか、などなどうかがいました。そして、お楽しみの試食会！やはり、普通のスーパーで売っている野菜と全く味が違います。「ただオーブンで焼いただけのカボチャがこんなに甘いとは！」と驚きの声。こういう野菜を食べに雲仙市に口を運ぶ「野菜ツーリズム」が期待できそうです。サロンの終わりには、空心菜や青ナス、黒米など、お買い物タイムとなったのでした。

